

大阪公立大学 現代システム科学域 環境社会システム学類

審査意見への対応を記載した書類（3月）添付資料

資料 1	現代システム科学域に関するキーワードについての説明	P. 2
資料 2	PBL プログラム履修課程	P. 9
資料 3	環境社会システム学類 カリキュラムマップ	P. 12
資料 4	環境社会システム学類 履修モデル	P. 16

現代システム科学域に関するキーワードについての説明

【サステナビリティ（Sustainability）】

国連環境計画（UNEP：United Nations Environment Programme）の下で開かれた環境と開発に関する世界委員会（WCED：World Commission on Environment and Development）は、1987年に最終レポート「我ら共有の未来（Our Common Future）」を発表し、その第1部第2章前文冒頭で、持続可能な開発（Sustainable Development）を次のように定義した。「将来の世代のニーズを満たす能力を損なうことなく、今日の世代のニーズを満たすような開発（Sustainable development is development that meets the needs of the present without compromising the ability of future generations to meet their own needs.）」。

定義に続く前文の最後には、世代間の公平性（equity between generations）だけでなく、各世代における公平性（equity within each generation）も担保されなければならないと記されており、資源へのアクセスに対して不公平が起こらないよう、地域間の格差や経済的な格差によらず、誰もが等しく資源を享受できることがサステナビリティには必要であるとしている。この理念は、2015年の国連総会で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ（2030 Agenda for Sustainable Development）」の前文に記されている、「我々は誰一人取り残さないと固く誓う（We pledge that no one will be left behind.）」へと引き継がれている。

さらに、第1部第2章第1節では、「ニーズ」について解説されている部分があり、衣食住など、貧困層でも最低限生きるために必要な基本的ニーズ（essential needs）を満たすことが最優先であり、その先に社会面や文化面も含む生活の質（quality of life）の改善があるとしている。このような「ニーズ」を満たすという概念は、1948年に提出された世界保健機関（WHO：World Health Organization）憲章によって定義された健康「健康とは、身体面、精神面、社会面における、すべてのウェルビーイング（良好性）の状況を指し、単に病気・病弱でない事とは意味しない（Health is a state of complete physical, mental and social well-being and not merely the absence of disease or infirmity.）」を最低限保障するという概念に一致する。

以上のことから、本学域においては、サステナビリティ（sustainability）を、「誰一人取り残すことなくすべての人々の尊厳が守られ、人としての包括的なウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に良好な状態）が世代を超えて保障される状態」と定義し、その状態が保たれている社会を持続可能な社会（sustainable society）と定義する。

【サステナビリティ学（Sustainability Science）】

サステナビリティに関する学問体系を構築する試みは、東京大学、京都大学、大阪大学、北海道大学、茨城大学の5大学によって、2005年に東京大学内に設置された、サステナビリティ学連携研究機構（IR3S：Integrated Research System for Sustainability Science）によって行われた。2009年に東京大学で第1回国際サステナビリティ学会議（ICSS：International Conference on Sustainability Science）が開催され、翌年には一般社団法人サステナビリティ・サイエンス・コンソーシアム（SSC：Sustainability

Science Consortium) が設立された。さらに、2012 年にアリゾナ州立大学で開催された第 3 回 ICSS において、東京大学、ローマ大学サピエンツァ、国際連合大学、アリゾナ州立大学の 4 大学を幹事大学とする、国際サステナビリティ学会 (ISSS: International Society for Sustainability Science) が発足し、以来毎年 ICSS の開催や国際学術雑誌「Sustainability Science」の発行などが行われている。

IR3S は、サステナビリティ学 (sustainability science) を構成する 3 つの要素として、気候システム、資源・エネルギー、生態系などから成る地球システム (global system)、政治、経済、産業、技術などから成る社会システム (social system)、安全、ライフスタイル、健康、価値規範などから成る人間システム (human system) を挙げている (図 1)。

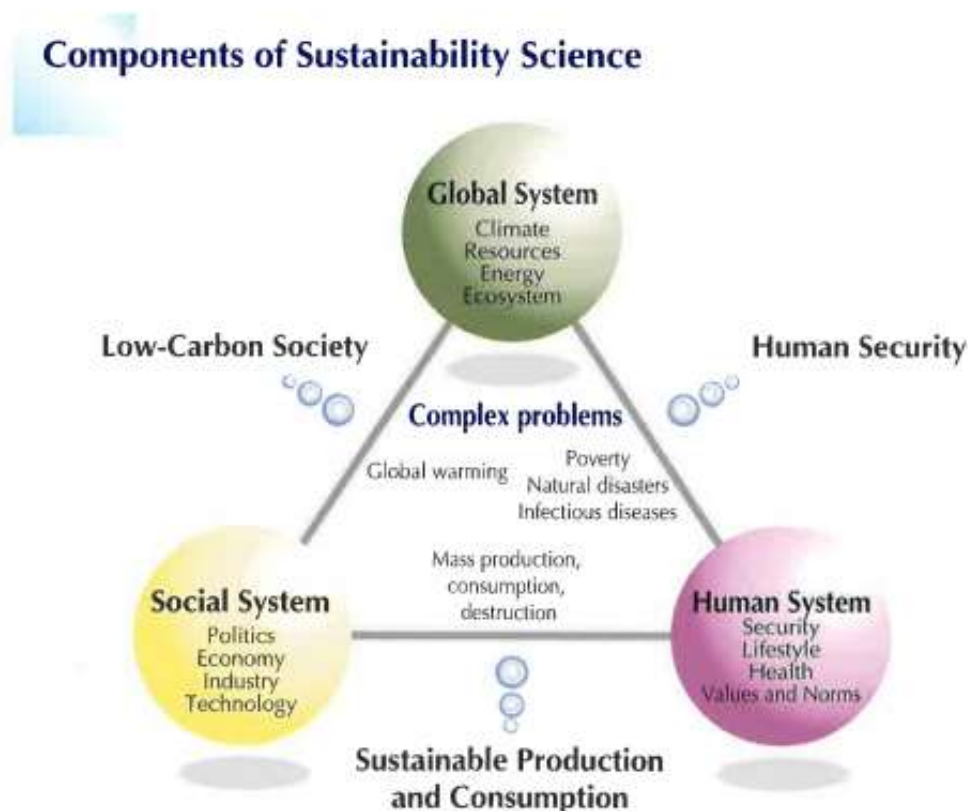


図 1 サステナビリティ学 (Sustainability Science) を構成するシステム

(茨城大学 HP, <http://www.grad.ibaraki.ac.jp/gpss/english/index.html>, より 2021/1/4 ダウンロード)

【持続可能システム (Sustainable System)】

2015 年の国連総会で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ (2030 Agenda for Sustainable Development)」の前文に続く宣言には、イントロダクションとして 6 項目の我々が取り組むべき課題が記され、その後に我々のビジョンとして、下記に示す 3 項目の目指すべき世界像が述べられている。

(2030 アジェンダの「宣言」日本語訳から抜粋)

7. これらの目標とターゲットにおいて、我々は最高に野心的かつ変革的なビジョンを設定している。我々は、すべての人生が栄える、貧困、飢餓、病気及び欠乏から自由な世界を思い描く。我々は、恐怖と暴力から自由な世界を思い描く。すべての人が読み書きできる世界。すべてのレベルにおいて質の高い教育、保健医療及び社会保護に公平かつ普遍的にアクセスできる世界。身体的、精神的、社会的福祉が保障される世界。安全な飲料水と衛生に関する人権を再確認し、衛生状態が改善している世界。十分に、安全で、購入可能、また、栄養のある食料がある世界。住居が安全、強靱（レジリエント）かつ持続可能である世界。そして安価な、信頼でき、持続可能なエネルギーに誰もがアクセスできる世界。

8. 我々は、人権、人の尊厳、法の支配、正義、平等及び差別のないこと、人種、民族及び文化的多様性。人間の潜在力を完全に実現し、繁栄を共有することに資することができる平等な機会が与えられる世界。子供たちに投資し、すべての子供が暴力及び搾取から解放される世界。すべての女性と女兒が完全なジェンダー平等を享受し、その能力強化を阻む法的、社会的、経済的な障害が取り除かれる世界。そして、最も脆弱な人々のニーズが満たされる、公正で、衡平で、寛容で、開かれており、社会的に包摂的な世界。

9. 我々は、すべての国が持続的で、包摂的で、持続可能な経済成長と働きがいのある人間らしい仕事を享受できる世界を思い描く。消費と生産パターン、そして空気、土地、河川、湖、帯水層、海洋といったすべての天然資源の利用が持続可能である世界。民主主義、グッドガバナンス、法の支配、そしてまたそれらを可能にする国内・国際環境が、持続的で包摂的な経済成長、社会開発、環境保護及び貧困・飢餓撲滅を含めた、持続可能な開発にとってきわめて重要である世界。技術開発とその応用が気候変動に配慮しており、生物多様性を尊重し、強靱（レジリエント）なものである世界。人類が自然と調和し、野生動植物その他の種が保護される世界。

このような目指すべき世界像を念頭に、サステイナビリティ学で挙げられた 3 つのシステムを、大気・海洋循環、水・食糧・エネルギー、生態系、都市環境などから成る自然システム（natural system）、ガバナンス、異・多文化共生、ジェンダー、万人・生涯支援、社会保障などから成る社会システム（social system）、哲学・倫理、自・異文化理解、万人・生涯教育、人間心理などから成る人間システム（human system）として捉え直すとともに、サステイナビリティ学では社会システムの一つとして位置付けられる情報システム（information system）を、他の 3 つのシステムをつなぐ役割を果たす重要な要素として独立させることによってできた 4 つのサブシステム全体を、一つの集合体として、持続可能システム（sustainable system）と定義する（図 2）。

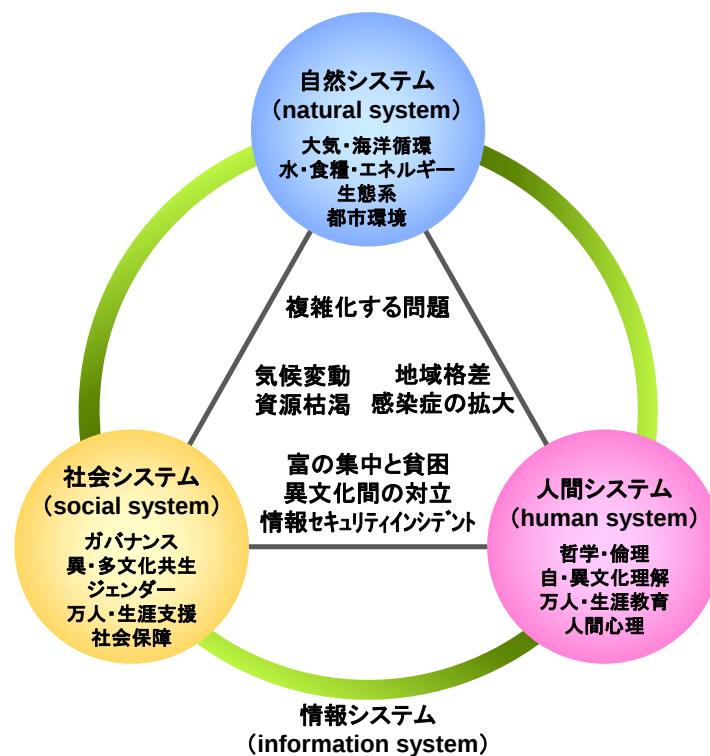


図2 持続可能システム（Sustainable System）を構成するシステム

【現代システム科学（Sustainable System Sciences）】

現代社会には、気候変動や人口爆発による水・食糧・エネルギー危機といった地球規模の問題、富の集中と貧困、宗教・価値観の違いによる国家・地域間の対立、心の病と生きる意味の喪失、日本に代表される社会の高齢化の進行、情報セキュリティインシデントなど、実にさまざまな問題が存在し、我々の暮らしに大きな脅威を与えている。すなわち、現代社会は持続不可能な社会であるということである。2012年4月に設置された現代システム科学域では、「持続不可能な現代社会を持続可能な社会に変革するための持続可能システム科学」として「現代システム科学」を定義した。しかし、「現代システム科学」を Contemporary System Sciences のように直訳しても、その意味は伝わりにくい。そこで、国際的な通用性も考慮した上で、「持続可能システム科学」の部分抜き出して Sustainable System Sciences を英訳名称として用いることにした*。

*補足：大阪府立大学現代システム科学域は、2022年4月に設置10年目を迎える。2016年3月以来1,487人の卒業生を社会に送り出し、また設置以来継続して「現代システム科学域連続セミナー」を開催して延べ3,962人を集めるなど、大阪を中心とした地域に「現代システム科学」の考え方を定着されるための努力を重ねてきた。新大学においても引き続き「現代システム科学域」の名称を維持することが、本学域の卒業生、新大学を志望する受験生、近隣の地域の人々にとっても望ましいと考えられる。英訳名称についても、上記のように直訳ではその意味を伝えにくいことから、引き続き Sustainable System Sciences を使用する。

このような現代システム科学（Sustainable System Sciences）には、自然システムの持続可能性を理解するうえで必要となる地球環境学、生態学、環境計画学、食糧生産学などの自然科学、社会システムおよび人間システムの持続可能性を理解するうえで必要となる歴史学、言語学、政策科学、法律学、経済学などの人文・社会科学、および哲学、倫理学、社会学、社会福祉学、教育学、心理学などの人間科学、情報システムの持続可能性を理解するうえで必要となる情報システム学、知能情報学など情報学の各要素が必要である（図3）。

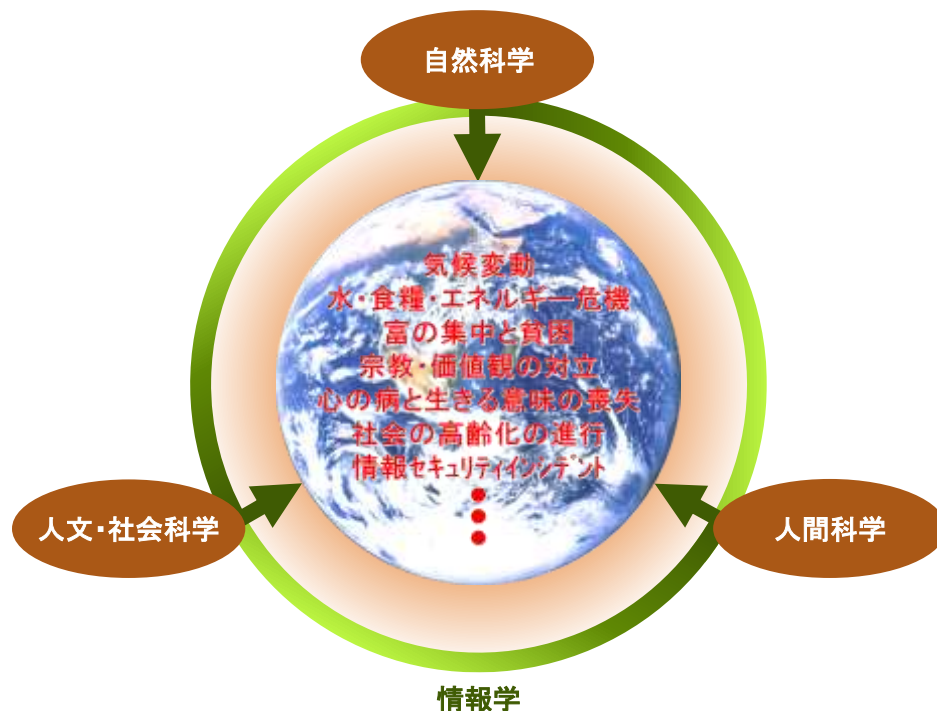


図3 現代システム科学（Sustainable System Sciences）の概念

持続可能システム（図2）を構成する4つのシステムと、現代システム科学（図3）に必要とされる4つの学問分野は、必ずしも1対1の関係にはなっていない。現代システム科学域を構成する学類を設定する際には、主な対象となるシステムと、主な基盤学問分野の組み合わせにより、ターゲットとなる教育研究分野を整理することが重要である。ここでは、教育研究分野の親和性と、想定される進路を見据えたカリキュラム構成の適合性を考慮し、知識情報システム学類、環境社会システム学類、教育福祉学類、心理学類の4学類で現代システム科学域を構成することとした（表1）。

表 1 現代システム科学域を構成する 4 学類

知識情報システム学類 (学生定員: 60)	環境社会システム学類 (学生定員: 100)	教育福祉学類 (学生定員: 55)	心理学類 (学生定員: 45)
主な教育研究分野: 情報システム学 情報通信工学 人工知能学 応用情報学 主な対象とするシステム: 情報システム 社会システム 人間システム 主な基盤学問分野: 情報学 人間科学 学位又は学科の分野 工学、理学	主な教育研究分野: 自然環境学 社会環境学 環境共生学 主な対象とするシステム: 自然システム 社会システム 人間システム 主な基盤学問分野: 自然科学 人文・社会科学 人間科学 学位又は学科の分野 文学、経済学、 工学、農学	主な教育研究分野: 社会福祉学 保育学 教育学 ジェンダー論 主な対象とするシステム: 社会システム 人間システム 主な基盤学問分野: 人文・社会科学 人間科学 学位又は学科の分野 教育学・保育学、 社会学・社会福祉学	主な教育研究分野: 認知科学 社会・環境心理学 臨床心理学 主な対象とするシステム: 情報システム 人間システム 主な基盤学問分野: 人間科学 情報学 学位又は学科の分野 文学
学士(情報学) 学士(学術)	学士(環境社会システム学) 学士(学術)	学士(教育福祉学) 学士(学術)	学士(心理学) 学士(学術)

〔知識情報システム学類〕

持続可能システムのうち、主に情報システム、社会システム、人間システムを対象とし、現代システム科学のうち、主に情報学、人間科学を基盤学問分野とする。情報・通信系企業などへの進路を見据え、以下のような人材を養成する。

現代社会の維持・発展に不可欠となっている情報システムについて理解するとともに、持続可能な社会を実現するための課題解決の手段として活用することができるような情報システムを主体的にデザインする能力、また急速に進歩し続ける情報通信技術を積極的に取り入れる態度を身に付けることで、社会の変容にともなう課題を継続して解決するための科学的な分析力・思考力を持つ人材を養成する。

〔環境社会システム学類〕

持続可能システムのうち、主に自然システム、社会システム、人間システムを対象とし、現代システム科学のうち、主に自然科学、人文・社会科学、人間科学を基盤学問分野とする。さまざまな職種の企業、公務員、NPO など多種多様な進路を見据え、以下のような人材を養成する。

自然システムの持続可能性を理解するために必要となる自然環境学、社会システムそのものの成り立ちや変化を理解するために必要となる社会環境学、環境と調和した社会システムを構築するために必要となる環境共生学の観点から、領域横断的応用力とシステムの思考力を発揮し、課題解決を図ることによって、持続可能な社会の実現に貢献できる人材を養成する。

〔教育福祉学類〕

持続可能システムのうち、主に社会システム、人間システムを対象とし、現代システム科学のうち、主に人文・社会科学、人間科学を基盤学問分野とする。社会福祉士および保育士の資格取得、公務員、医療・福祉関係などへの進路を見据え、以下のような人材を養成する。

持続可能な社会を実現するために、現代社会の諸問題を深く理解するとともに、複合的な

視野から社会の仕組みをよりよいものに変革していくことのできる力をもち、地域社会から国際社会までの広範な領域で活躍できる人材を養成する。

〔心理学類〕

持続可能システムのうち、主に情報システム、人間システムを対象とし、現代システム科学のうち、主に情報学、人間科学を基盤学問分野とする。公認心理師の資格取得、公務員、カウンセラーなどへの進路を見据え、以下のような人材を養成する。

現代社会に生きる人々が、他者や社会、文化との相互作用の中で抱える心に起因する問題に焦点を当て、心理学及び心理学関連分野の専門的知識・技能とシステムの思考力を発揮し、課題解決を図ることによって、持続可能な社会の実現に貢献できる人材を養成する。

【領域横断的応用力】

持続可能システム科学（sustainable system sciences）には、資源・エネルギーの持続的利用やそれを支える生態系の保全に必要な自然科学、多様な歴史や文化、言語を背景に持つ人々が共生するための社会の仕組みづくりに必要な人文・社会科学、便利さや物質的豊かさを際限なく追及するのではなく、限りある資源を分かち合うことですべての人のウェルビーイングを実現するための人間科学、さらに、これらの幅広い知識をできるだけ広範囲で効率的に共有し活用するための情報学が構成要素として含まれている。このような「幅広い知識・技能をバランスよく理解し、ある領域の知識・技能を別の領域に適用したり、複数の領域の知識・技能を融合させたりすることのできる能力」のことを、ここでは「領域横断的応用力」と定義する。

【システムの思考力】

システム（system）は、ギリシア語の「共に」を意味する syn と、「立つ」を意味する stema からなる造語で、共に立つ、共立、共存、という意味である。広辞苑では、「複数の要素が有機的に関係しあい、全体としてまとまった機能を発揮している要素の集合体。」と記されている。持続可能な社会を実現するためには、気候システム（climate system）や生態系（ecosystem）などの自然システム（natural system）、法体系（legal system）や経済システム（economic system）などの社会システム（social system）、ウェルビーイング（wellbeing）を実現するための教育福祉やシステムとしての人間の心（mind as system）といった人間システム（human system）、さらにそれらのシステムをつなぐ役割を果たす情報システム（information system）等、さまざまな「システム」を理解しなければならない。これらのシステムは、いずれも多くの構成要素が各々の相互作用を伴って全体として変化するが、このような「構成要素間の相互作用を理解し、全体の変化を予測したり新たな変化を考え出したりすることのできる能力」のことを、ここでは「システムの思考力」と定義する。

以上

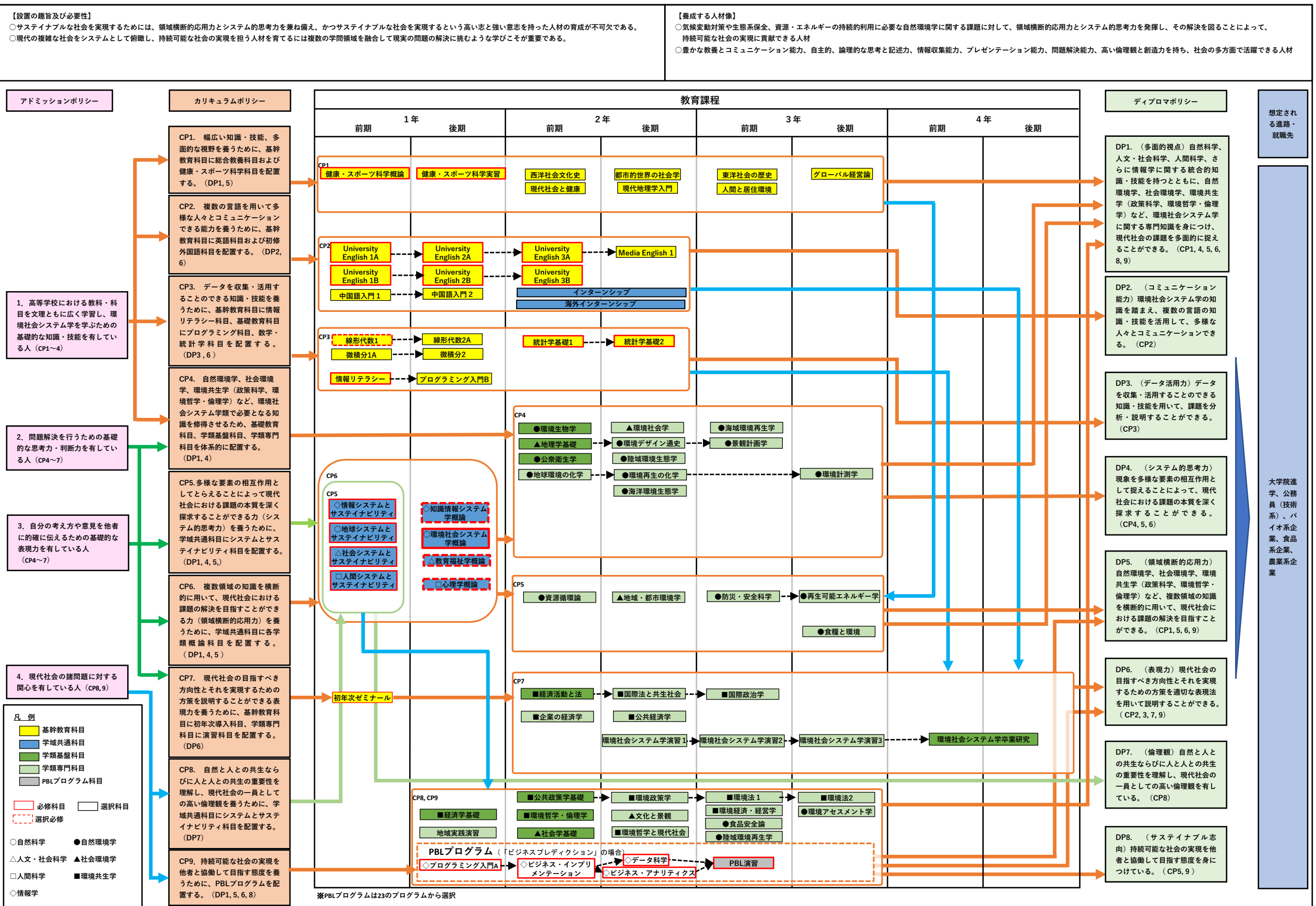
現代システム科学域 PBLプログラム履修課程

PBLプログラム	科 目	単位 (○印必修)	週 時 間 数								履修を指定する科目数	卒業要件	備考
			第1年次		第2年次		第3年次		第4年次				
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
ビジネスブレディクション	プログラミング入門 A	②		2							5科目		*基礎教育科目
	ビジネス・インプリメンテーション	②			2								*知識情報科目
	ビジネス・アナリティクス	②				2							*知識情報科目
	データ科学	②				2							*知識情報科目
	P B L 演 習	②					2						*PBL科目
生産システム科学	生産システム科学	②			2						3科目	5科目	*知識情報科目
	生産管理システム	②				2							*知識情報科目
	生産科学	②					2						*知識情報科目
	AIプログラミング	2					2						*知識情報科目
	人工知能 A	2					2						*知識情報科目
ヘルスケア科学	P B L 演 習	②						2			1科目		*PBL科目
	医学概論(人体の構造と機能及び疾病)	②		2							5科目		*心理科目
	公衆衛生学	②			2								*環境シス科目
	ヘルスケアシステム	②			2								*知識情報科目
	ヘルスケアサービス	②				2							*知識情報科目
P B L 演 習	②					2				*PBL科目			
サービスデザイン	コンピュータシステム	2			2						1科目	5科目	*知識情報科目
	情報ネットワーク基礎	2			2								*知識情報科目
	データベース基礎	2			2						*知識情報科目		
	マーケティング・サイエンス	②					2				*知識情報科目		
	ヒューマンコンピュータインタラクション	②					2				*知識情報科目		
	人工知能 A	②					2				*知識情報科目		
	P B L 演 習	②					2				*PBL科目		
教育情報システムデザイン	情報ネットワーク基礎	②			2						5科目		*知識情報科目
	教育情報学	②				2							*知識情報科目
	教育・学習の理論と設計	②					2						*知識情報科目
	人工知能 B	②					2						*知識情報科目
	P B L 演 習	②						2					*PBL科目
情報ネットワークシステム	プログラミング入門 A	②		2							3科目	5科目	*基礎教育科目
	情報ネットワーク基礎	②			2								*知識情報科目
	コンピュータシステム	②			2								*知識情報科目
	Webシステム構築基礎	2				2					*知識情報科目		
	情報通信工学概論	2					2				*知識情報科目		
	P B L 演 習	②					2				*PBL科目		
環境学	環境・生命・倫理	②	2								3科目	5科目	*総合教養科目
	自然環境学概論	②		2									*総合教養科目
	環境政策学	②				2							*環境シス科目
	技術と環境	2			2						*総合教養科目		
	人間と居住環境	2			2						*総合教養科目		
	生命と環境	2			2						*総合教養科目		
	国際開発の課題	2			2						*総合教養科目		
	地域文化学	2			2						*総合教養科目		
	大阪の自然	2			2						*総合教養科目		
地域再生	P B L 演 習	②						2			1科目		*PBL科目
	大阪の都市づくり	②	2								2科目	5科目	*総合教養科目
	地域実践演習	②		2									*環境シス科目
	環境・生命・倫理	2	2										*総合教養科目
	自然環境学概論	2		2							*総合教養科目		
公共政策学基礎	2			2						*環境シス科目			
環境再生	P B L 演 習	②							2		1科目		*PBL科目
	大阪の都市づくり	②	2								5科目		*総合教養科目
	自然環境学概論	②		2									*総合教養科目
	海城環境再生学	②					2						*環境シス科目
	陸城環境再生学	②					2						*環境シス科目
P B L 演 習	②						2			*PBL科目			
企業と持続可能な社会	企業の経済学	②			2						5科目		*環境シス科目
	環境経済・経営学	②					2						*環境シス科目
	経済活動と法	②				2							*環境シス科目
	環境法 1	②					2						*環境シス科目
	P B L 演 習	②						2					*PBL科目
ESD-A (資格系)	社会科教育法(公民分野)1A	2				2					3科目	5科目	*教職科目(環境シス)
	社会科教育法(公民分野)2A	2				2							*教育福祉科目
	福祉科教育法 A	2				2							*教職科目(環境シス)
	福祉科教育法 B	2				2							*教育福祉科目
	倫理学	2			2								*教育福祉科目
	政治学	2				2							*環境シス科目
	社会学基礎	2			2								*教育福祉科目
	国際教育と開発	②					2				*環境シス科目		
	P B L 演 習	②					2				*教育福祉科目		
												*心理科目	
												*PBL科目	

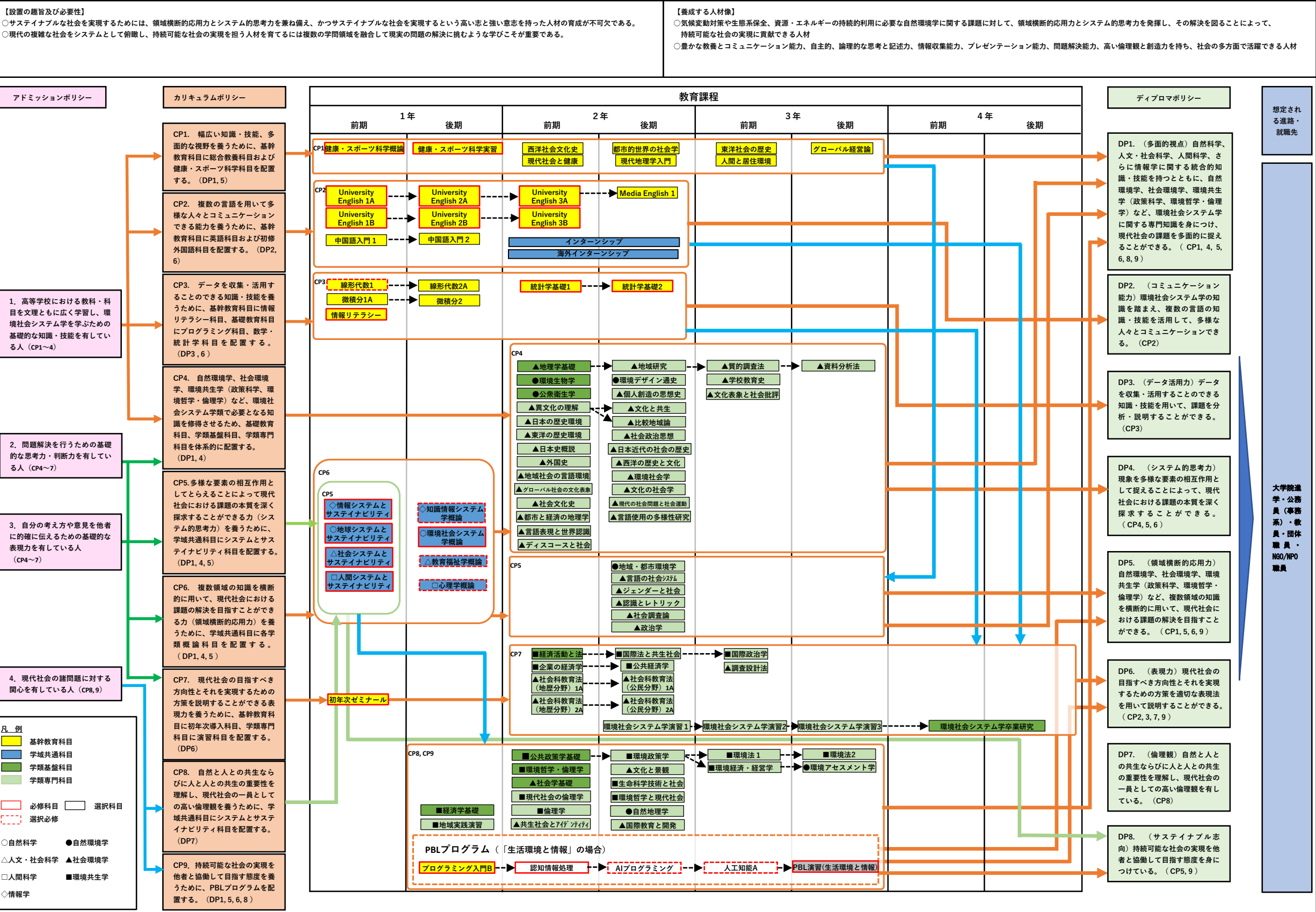
PBLプログラム	科 目	単位 (○印必修)	週 時 間 数								履修を指定する科目数	卒業要件	備考
			第1年次		第2年次		第3年次		第4年次				
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
ESD-B (資格系)	社会科教育法(地歴分野)1A	2			2						3科目	5科目	*教職科目(環社シス) *教育福祉科目 *教職科目(心理)
	社会科教育法(地歴分野)2A	2			2								*教職科目(環社シス) *教育福祉科目 *教職科目(心理)
	日 本 史 概 説	2			2								*環社シス科目 *教育福祉科目 *心理科目
	外 国 史	2			2								*環社シス科目 *教育福祉科目 *心理科目
	自 然 地 理 学	2			2								*環社シス科目 *教育福祉科目 *心理科目
	国 際 教 育 と 開 発	②					2				2科目		*環社シス科目 *教育福祉科目 *心理科目
	P B L 演 習	②					2						*PBL科目
社会調査(資格系)	社 会 調 査 論 *	②			2						1科目	5科目	*環社シス科目 *環社シス科目 *教育福祉科目 *心理科目
	社 会 学 基 礎	2			2						1科目		*環社シス科目 *教育福祉科目 *心理科目
	地 理 学 基 礎	2			2								*環社シス科目 *教育福祉科目
	文 化 人 類 学 入 門	2			2								*総合教養科目
	現 代 の 社 会 問 題 と 社 会 運 動	2				2					1科目、ただし 社会調査士取得のためには* 科目が必修		*環社シス科目 *教育福祉科目 *心理科目
	環 境 社 会 学	2				2					*環社シス科目		
	質 的 調 査 法 *	2					2				*環社シス科目		
	資 料 分 析 法 *	2						2			*環社シス科目		
	調 査 設 計 法 *	2					2				*環社シス科目		
	地 域 社 会 学	2				2					*教育福祉科目		
	ジ ェ ン ダ ー と 社 会	2				2					*教育福祉科目		
	社会におけるネットワーク	2		2							1科目		*総合教養科目
社 会 と 統 計 *	2				2					1科目	*総合教養科目		
P B L 演 習 *	②						2				*PBL科目		
都市社会	文 化 と 景 観	2				2					1科目	5科目	*環社シス科目 *教育福祉科目
	地 理 学 基 礎	2			2								*環社シス科目 *教育福祉科目
	社 会 文 化 史	2			2								*環社シス科目
	社 会 政 治 思 想	2				2							*環社シス科目
	都 市 と 経 済 の 地 理 学	2			2								*環社シス科目 *教育福祉科目
	地 域 研 究	2				2					1科目		*環社シス科目 *教育福祉科目
	大 阪 の 都 市 づ く り	2	2										*環社シス科目 *教育福祉科目
	共 生 の 思 想 と 歴 史	2				2							*総合教養科目
	ジ ェ ン ダ ー と 社 会	2				2							*教育福祉科目
	地 域 社 会 学	2				2							*教育福祉科目
	教育福祉の諸問題C(多文化共生)	2				2					*教育福祉科目		
	地 域 ・ 都 市 環 境 学	2				2					*環社シス科目		
環 境 心 理 学	2				2					*心理科目			
P B L 演 習 *	②					2				1科目	*PBL科目		
文化表象	言 語 表 現 と 世 界 認 識	2			2						2科目	5科目	*環社シス科目
	認 識 と レ ト リ ッ ク	2				2							*環社シス科目
	地 域 社 会 の 言 語 環 境	2			2								*環社シス科目
	デ ィ ス コ ー ス と 社 会	2			2								*環社シス科目
	グ ロー バ ル 社 会 の 文 化 表 象	2			2								*環社シス科目
	文 化 表 象 と 社 会 批 評	2				2					1科目		*環社シス科目
	言 語 の 社 会 シ ス テ ム	2				2							*環社シス科目
	地 域 ・ 都 市 環 境 学	2				2							*環社シス科目
	共 生 の 思 想 と 歴 史	2				2							*教育福祉科目
	教育福祉の諸問題C(多文化共生)	2				2							*教育福祉科目
	歴 史 の な か の 大 阪	2				2					*総合教養科目		
	国 際 文 化 の 視 点	2				2					*総合教養科目		
	こ と ば の 歴 史	2				2					*総合教養科目		
	エ ス ニ ッ ク ・ ス タ デ ィ	2					2				*総合教養科目		
	日 本 の 古 典 文 学	2					2				*総合教養科目		
世 界 の な か の 英 語	2					2				*総合教養科目			
P B L 演 習 *	②						2			1科目	*PBL科目		
共生の思想	社 会 文 化 史	2			2						1科目	5科目	*環社シス科目 *環社シス科目 *教育福祉科目
	文 化 と 共 生	2				2							*環社シス科目
	共生社会とアイデンティティ	2			2								*環社シス科目
	現 代 社 会 の 倫 理 学	2			2								*環社シス科目
	環 境 哲 学 と 現 代 社 会	2				2							*環社シス科目
	個 人 創 造 の 思 想 史	2				2					*環社シス科目 *教育福祉科目		
	ジ ェ ン ダ ー と 社 会	2				2					*環社シス科目 *教育福祉科目		
	共 生 の 思 想 と 歴 史	2				2					*教育福祉科目		
	教育福祉の諸問題C(多文化共生)	2				2					*教育福祉科目		
	共 生 社 会 と 宗 教	2				2					*総合教養科目		
P B L 演 習 *	②						2			1科目	*PBL科目		

PBLプログラム	科 目	単位 (○印必修)	週 時 間 数								履修を指定する科目数	卒業要件	備 考
			第1年次		第2年次		第3年次		第4年次				
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
ジェンダー論	家 族 社 会 学	2			2						1科目	5科目	*教育福祉科目
	教育福祉の諸問題B(性と人権)	2			2								*教育福祉科目
	社 会 福 祉 原 論	2					2						*教育福祉科目
	共 生 の 思 想 と 歴 史	2				2							*教育福祉科目
	ジ ェ ン ダ ー と 社 会	2				2							*環境シス科目
	教 育 福 祉 学 B	2				2					1科目		*教育福祉科目
	保 育 学 概 論	2		2									*教育福祉科目
	乳 児 保 育 論	2				2							*教育福祉科目
	異 文 化 の 理 解	2			2								*環境シス科目
	共生社会とアイデンティティ	2			2								*環境シス科目
	文 化 と 景 観	2				2					*教育福祉科目		
	デ ィ ス コ ー ス と 社 会	2			2						*環境シス科目		
	人間システムとサステイナビリティ	2	2								*学域共通科目		
	ジ ェ ン ダ ー 論 入 門	2	2								*総合教養科目		
ジ ェ ン ダ ー と 現 代 社 会	2			2						*総合教養科目			
グ ロ ー バ ル 化 と 人 権	2	2								*総合教養科目			
ス ポ ー ツ と 社 会	2	2								*総合教養科目			
文化と社会の心理	2		2							*総合教養科目			
P B L 演 習	②					2				1科目	*PBL科目		
コラボレーション	コ ラ ボ レ ー シ ョ ン 論	2					2				4科目	5科目	*教育福祉科目
	教 育 の 思 想 と 歴 史	2		2									*教育福祉科目
	スクール・ソーシャルワーク概論	2				2							*教育福祉科目
	特 別 支 援 教 育	2						2					*教育福祉科目
	教 育 社 会 学	2		2									*教育福祉科目
	臨 床 心 理 学 概 論	2			2						*教育福祉科目		
	教 育 ・ 学 校 心 理 学	2						2			*心理科目		
P B L 演 習	②						2			1科目	*PBL科目		
地域および都市における 排除・共生・参加	地 域 福 祉 論 A	2			2						4科目	5科目	*教育福祉科目
	地 域 福 祉 論 B	2				2							*教育福祉科目
	地 域 社 会 学	2				2							*教育福祉科目
	社 会 福 祉 原 論	2					2						*教育福祉科目
	教育福祉の諸問題A(貧困と社会)	2			2								*教育福祉科目
	環 境 哲 学 と 現 代 社 会	2				2					*環境シス科目		
	地 理 学 基 礎	2			2						*環境シス科目		
地 域 研 究	2				2					*環境シス科目			
P B L 演 習	②						2			1科目	*PBL科目		
生涯学習と設計	社 会 教 育 入 門	2				2					4科目	5科目	*教育福祉科目
	保 育 学 概 論	2		2									*教育福祉科目
	心 理 学 と 心 理 的 支 援	2		2									*教育福祉科目
	生 涯 学 習 概 論	2			2								*教育福祉科目
	生涯スポーツ指導	2				2							*教育福祉科目
	教育福祉の諸問題C(多文化共生)	2				2					*教育福祉科目		
	社 会 教 育 計 画	2					2				*教育福祉科目		
教 育 情 報 学	2				2					*知識情報科目			
教育・学習の理論と設計	2						2			*知識情報科目			
P B L 演 習	②						2			1科目	*PBL科目		
生活環境と情報	プ ロ グ ラ ミ ン グ 入 門 B	②		2							2科目	5科目	*基礎教育科目
	認 知 情 報 処 理	②					2				*心理科目		
	科 学 技 術 と 社 会	2		2							*総合教養科目		
	社 会 に お け る ネ ッ ト ワ ー ク	2		2							*総合教養科目		
	A I プ ロ グ ラ ミ ン グ	2					2				*知識情報科目		
	人 工 知 能 A	2					2				*知識情報科目		
環 境 心 理 学	2			2						*心理科目			
P B L 演 習	②						2			1科目	*PBL科目		
生きることと遊び	発 達 心 理 学 2	2				2					4科目	5科目	*心理科目
	環 境 心 理 学	2			2								*心理科目
	心の病理学(精神疾患とその治療)	2				2							*心理科目
	心理療法論(心理学的支援法)	2					2						*心理科目
	文 化 人 類 学 入 門	2		2									*総合教養科目
	異 文 化 の 理 解	2			2						*環境シス科目		
	現 代 社 会 と 健 康	2		2							*総合教養科目		
	ヘ ル ス ケ ア サ ー ビ ス	2				2					*知識情報科目		
	精 神 保 健 学	2						2			*教育福祉科目		
P B L 演 習	②						2			1科目	*PBL科目		
教育保障	地 域 実 践 演 習	②		2							2科目	5科目	*環境シス科目
	特 別 支 援 教 育	②						2			*教育福祉科目		
	教 育 社 会 学	2		2							*教育福祉科目		
	教 育 ・ 学 校 心 理 学	2						2			*心理科目		
	スクール・ソーシャルワーク概論	2				2					*教育福祉科目		
	大 阪 の 都 市 づ く り	2	2								*総合教養科目		
心 理 学 と 心 理 的 支 援	2		2							*教育福祉科目			
P B L 演 習	②						2			1科目	*PBL科目		

現代システム科学域 環境社会システム学類 カリキュラムマップ（自然環境学）

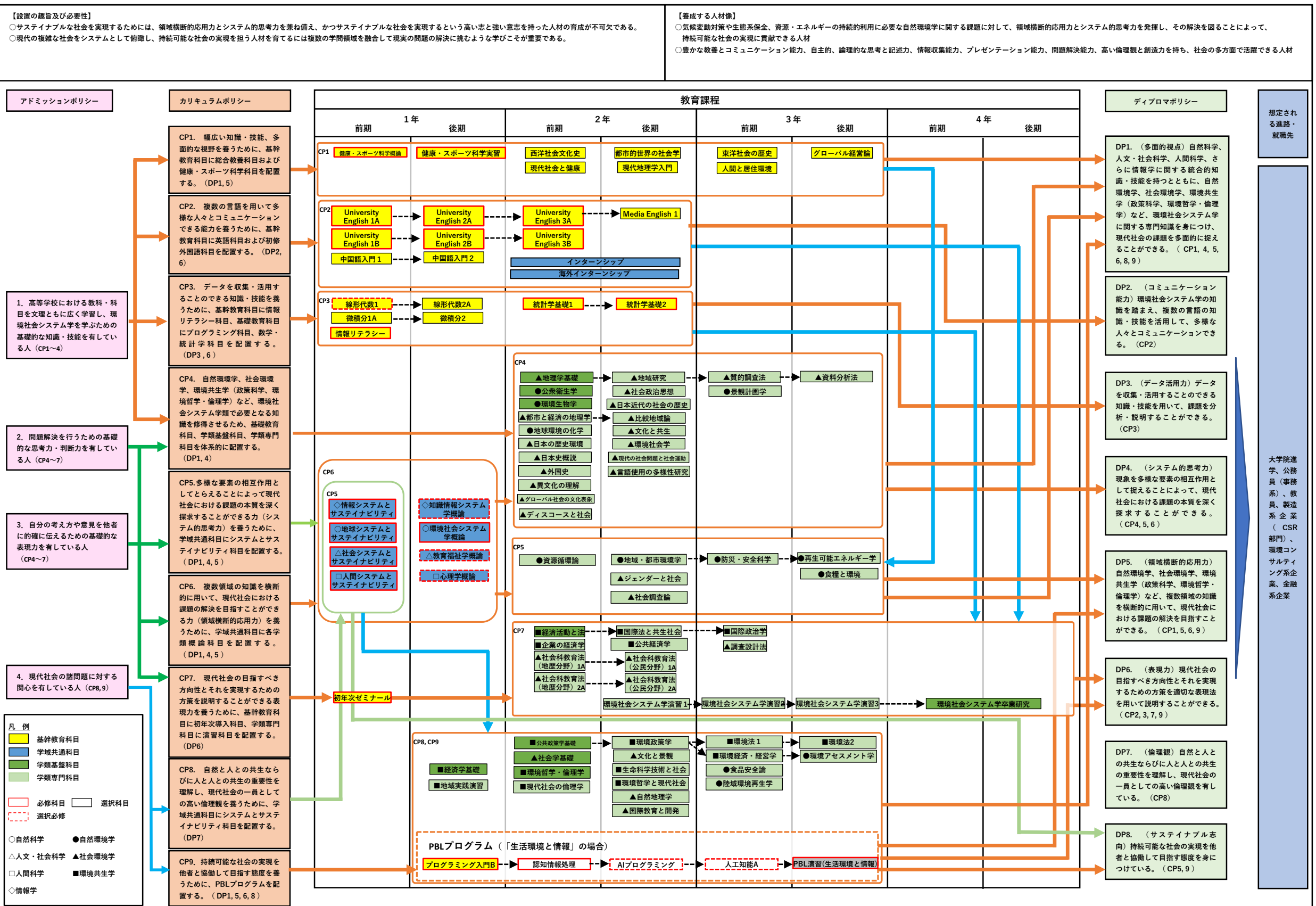


現代システム科学域・環境社会システム学類カリキュラムマップ（社会環境学）

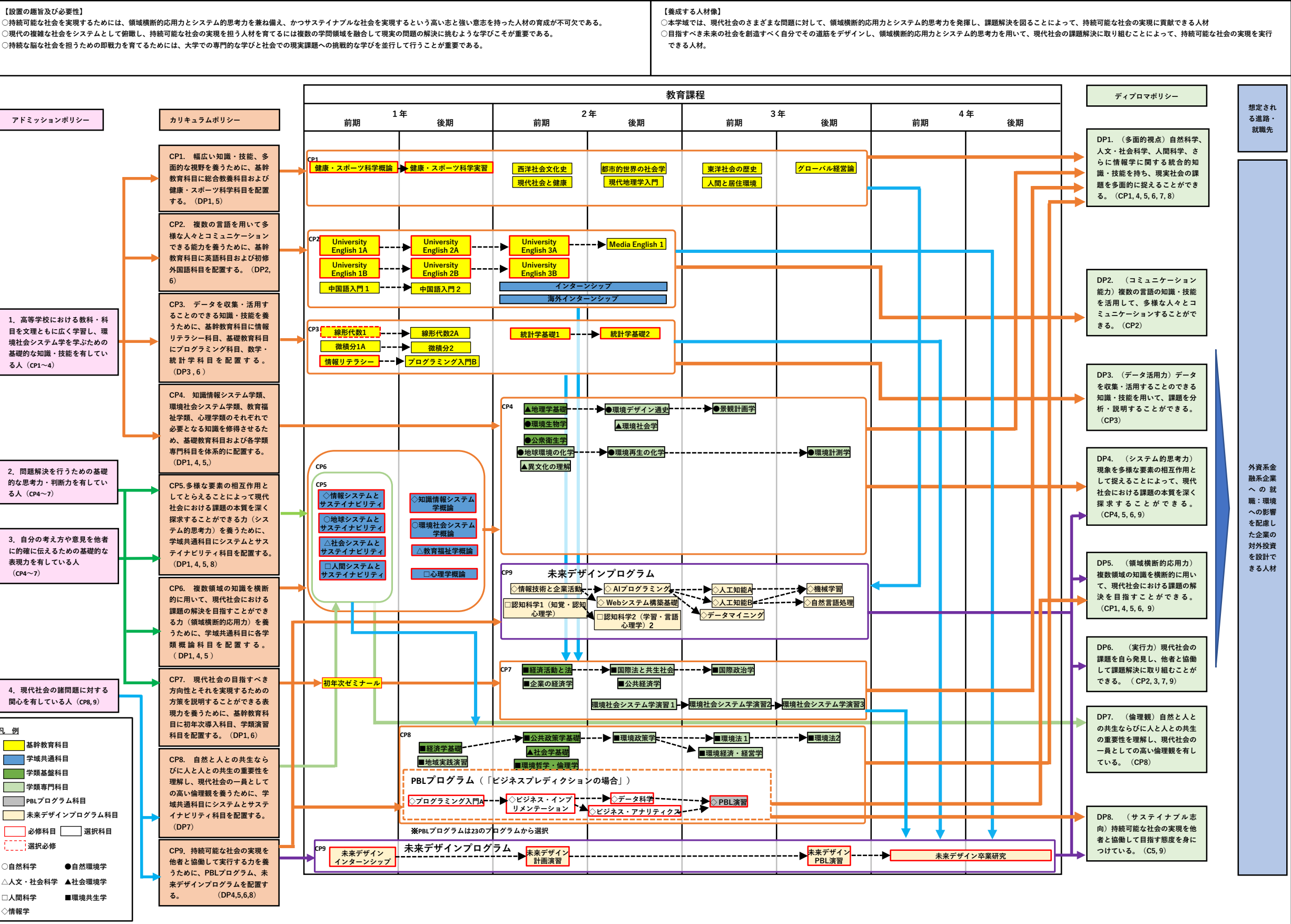


繋がりを分かりやすくするために矢印の色を変えている部分があるが、色自体に意味はない。

現代システム科学域・環境社会システム学類カリキュラムマップ（環境共生学（政策科学、環境哲学・倫理学））



現代システム科学域 環境社会システム学類 未来デザインコースカリキュラムマップ



環境社会システム学類履修モデル（自然環境学 No. 1）

PBLプログラム（環境学）を履修し、公務員（環境技術職）、環境NPO、環境コンサルタント企業に就職、あるいは大学院に進学する場合

区分		1年次		2年次		3年次		4年次		単位 合計	卒業要件 単位数			
		科 目 名	単位	科 目 名	単位	科 目 名	単位	科 目 名	単位					
基幹 教育 科目	初年次	初年次ゼミナール	2							2	35単位			
	総合 教養 科目	環境・生命・倫理#	2	技術と環境#	2	国際活動とキャリア		2						
		自然環境学概論#	2	キャリアと実践	2									
		現代社会におけるキャリアデザイン	2	国際社会と政治	2									
		ジェンダー論入門	2	生命と環境	2									
		科学技術と社会	2											
外国語 科目	University English 1A	1	University English 3A	1						20				
	University English 1B	1	University English 3B	1										
	University English 2A	1												
	University English 2B	1												
	フランス語入門1	1								8				
	フランス語入門2	1												
その他	情報リテラシー	2												
	健康・スポーツ科学概論	2												
	健康・スポーツ科学演習	1									5			
		15科目	12	11	6科目	7	3	1科目	0	2	0科目	0	0	35
基礎 教育 科目		線形代数1	2											
		線形代数2A	2											8
		統計学基礎1	2											
		統計学基礎2	2											8
		4科目	4	4	0科目	0	0	0科目	0	0	0科目	0	0	8
専門 科目	学域 共通 科目	情報システムとサステイナビリティ	2											12
		自然システムとサステイナビリティ	2											
		社会システムとサステイナビリティ	2											
		人間システムとサステイナビリティ	2											
		知識情報システム学概論	2											
		環境社会システム学概論	2											
	学類 基盤 科目	経済学基礎		2	環境生物学	2					環境社会システム学卒業研究	3	3	16
					公衆衛生学	2								
					公共政策学基礎	2								
					環境哲学・倫理学	2								
学類 専門 科目	地域実践演習		2	地球環境の化学	2	海城環境再生学	2	生命科学技術と社会	2				56	
				地域・都市環境学	2	陸域環境再生学	2							
				環境デザイン通史	2	食品安全論	2							
				資源循環論	2	食糧と環境	2	2						
				海洋環境生態学	2	景観計画学	2	2						
				陸域環境生態学	2	環境計測学	2	2						
				環境再生の化学	2	防災・安全科学	2	2						
				公共経済学	2	再生可能エネルギー学	2	2						
				国際法と共生社会	2	環境アセスメント学	2	2						
				環境政策学#	2	環境経済・経営学	2	2						
				異文化の理解	2	環境法1	2	2						
				環境社会システム学演習1	2	環境法2	2	2						
				自然地理学	2	環境社会システム学演習2	2	2						
						環境社会システム学演習3	2	2						
ラブ P 目ムロ B 科グ L					PBL 演習 (環境学)#	1	1							
	8科目	8	8	17科目	14	20	15科目	17	13	2科目	3	5	88	
単位総計	27科目	24	23	23科目	21	23	16科目	17	15	2科目	3	5	131	131単位以上

(注1) 科目名欄の下線は必修科目を示す。

(注2) #は、PBLプログラム科目を示す。

環境社会システム学類履修モデル（自然環境学 No. 2）

PBLプログラム（環境再生）を履修し、公務員（環境技術職）、環境NPO、環境コンサルタント企業に就職、あるいは大学院に進学する場合

区分		1年次		2年次		3年次		4年次		単位 合計	卒業要件 単位数				
		科 目 名	単 位	科 目 名	単 位	科 目 名	単 位	科 目 名	単 位						
基幹教育科目	初年次	初年次ゼミナール	2								2	35単位			
	総合教養科目	環境・生命・倫理	2	大阪の都市づくり#	2	国際活動とキャリア		2							
		自然環境学概論#	2	キャリアと実践	2										
		現代社会におけるキャリアデザイン	2	国際社会と政治	2										
		ジェンダー論入門	2	生命と環境	2										
		科学技術と社会	2												
	外国語科目	University English 1A	1	University English 3A	1										
		University English 1B	1	University English 3B	1										
		University English 2A	1												
		University English 2B	1												
フランス語入門1		1													
フランス語入門2	1														
その他	情報リテラシー	2									5				
	健康・スポーツ科学概論	2													
	健康・スポーツ科学演習	1													
		15科目	12	11	6科目	7	3	1科目	0	2	0科目	0	0	35	
基礎教育科目		線形代数1	2											8	
		線形代数2A	2												
		統計学基礎1	2												
		統計学基礎2	2												
		4科目	4	4	0科目	0	0	0科目	0	0	0科目	0	0	8	
専門科目	学域共通科目	情報システムとサステイナビリティ	2										12	96単位以上	
		自然システムとサステイナビリティ	2												
		社会システムとサステイナビリティ	2												
		人間システムとサステイナビリティ	2												
		知識情報システム学概論	2												
		環境社会システム学概論	2												
	学類基盤科目	経済学基礎		2	環境生物学	2					環境社会システム学卒業研究	3	3		16
					公衆衛生学	2									
	学類専門科目					公共政策学基礎#	2								
						環境哲学・倫理学	2								
地域実践演習#			2	地球環境の化学	2	海城環境再生学#	2	生命科学技術と社会		2		56			
				地域・都市環境学	2	陸城環境再生学#	2								
				環境デザイン通史		食品安全論	2								
				資源循環論	2	食糧と環境		2							
				海洋環境生態学	2	景観計画学	2								
				陸域環境生態学	2	環境計測学	2								
				環境再生の化学	2	防災・安全科学	2								
				公共経済学	2	再生可能エネルギー学	2								
				国際法と共生社会	2	環境アセスメント学	2								
				環境政策学	2	環境経済・経営学	2								
				異文化の理解	2	環境法1	2								
				環境社会システム学演習1	2	環境法2	2								
			自然地理学	2	環境社会システム学演習2	2									
				環境社会システム学演習3	2										
ラブP 目ムロB 科グ					PBL演習(環境再生)#	1	1						2		
		8科目	8	8	17科目	14	20	15科目	17	13	2科目	3	5	88	
単位総計		27科目	24	23	23科目	21	23	16科目	17	15	2科目	3	5	131	131単位以上

(注1) 科目名欄の下線は必修科目を示す。

(注2) #は、PBLプログラム科目を示す。

環境社会システム学類履修モデル（社会環境学 No. 1）

PBLプログラム（社会調査）を履修し、調査会社、マスコミ、NPO法人に就職、あるいは大学院進学する場合

区分		1年次			2年次			3年次			4年次			単位 合計	卒業要件 単位数			
		科 目 名		単位	科 目 名		単位	科 目 名		単位	科 目 名		単位					
基幹 教育 科目	初年次	初年次ゼミナール		2										2	35単位			
	総合 教養 科目	自然環境学概論	2	国際社会と政治	2	バリアフリー論	2							20				
		現代社会におけるキャリアデザイン	2	環境・生命・倫理	2	キャリアと実践	2											
		ジェンダー論入門	2															
		日本国憲法	2															
		国際活動とキャリア	2															
	大阪の都市づくり	2																
外国語 科目	Unisversity English 1A	1	Unisversity English 3A	1										8				
	Unisversity English 1B	1	Unisversity English 3B	1														
	Unisversity English 2A	1																
	Unisversity English 2B	1												5				
	フランス語入門1	1																
	フランス語入門2	1												35				
基礎 教育 科目		16科目		14	11	4科目		5	1	2科目		4	0	0科目		0	0	
	基礎 教育 科目	数学リテラシー1	2	統計学基礎1	2													6
					統計学基礎2	2												
		1科目		2	0	2科目		2	2	0科目		0	0	0科目		0	0	6
専 門 科 目	学域 共通 科目	情報システムとサステイナビリティ	2			インターンシップ	2											14
		自然システムとサステイナビリティ	2															
		社会システムとサステイナビリティ	2															
		人間システムとサステイナビリティ	2															
		環境社会システム学概論	2															
	教育福祉学概論	2																
	学類 基盤 科目	経済学基礎		2	公共政策学基礎	2					環境社会システム学卒業研究	3	3					18
				2	経済活動と法	2												
				2	環境哲学・倫理学	2												
				2	社会学基礎#	2												
				2	地理学基礎#	2												
	学類 専門 科目	地域実践演習		2	公共経済学		2	国際政治学	2		国際教育と開発		2					56
				国際法と共生社会		2	現代社会の倫理学	2										
				環境社会学#		2	共生社会とアイデンティティ	2										
				都市と経済の地理学	2	2	現代の社会問題と社会運動#	2	2									
				地域研究	2	2	個人創造の思想史	2	2									
ラブ P 目 ム ロ B 科 グ L				社会調査論#	2	2	地域社会の言語環境	2	2								2	
				文化と景観	2	2	異文化の理解	2	2									
				環境哲学と現代社会	2	2	文化と共生	2	2									
				社会文化史	2	2	グローバル社会の文化表象	2	2									
				環境社会システム学演習1	2	2	ジェンダーと社会#	2	2									
			倫理学		2	環境社会システム学演習2	2	2										
						環境社会システム学演習3	2	2										
						質的調査法#	2	2										
						調査設計法#	2	2										
						資料分析法#	2	2										
単位 総計		8科目		8	8	16科目		14	18	17科目		21	13	2科目		3	5	90
		26科目		24	19	22科目		21	21	19科目		25	13	2科目		3	5	131
																		131単位以上

(注1) 科目名欄の下線は必修科目を示す。

(注2) #は、PBLプログラム科目を示す。

環境社会システム学類履修モデル（社会環境学 No. 2）

PBLプログラム（都市社会）を履修し、公務員（行政職）、NPO法人に就職、あるいは大学院に進学する場合

区分	1年次			2年次			3年次			4年次			単位 合計	卒業要件 単位数
	科目名	単位		科目名	単位		科目名	単位		科目名	単位			
基幹教育科目	初年次	2											2	35単位
	総合教養科目	2	2	国際社会と政治	2		バリアフリー論	2						
		2	2	環境・生命・倫理	2		キャリアと実践	2						
		2	2											
		2	2											
基幹教育科目	外国語科目	1	1	University English 3A	1								20	35単位
		1	1	University English 3B	1									
		1	1											
		1	1											
		1	1											
基幹教育科目	その他	2	2										8	35単位
		2	2											
		1	1											
16科目		14	11	4科目	5	1	2科目	4	0	0科目	0	0	35	
基礎教育科目	数学リテラシー1	2		統計学基礎1	2									96単位以上
				統計学基礎2	2	2								
	1科目	2	0	2科目	2	2	0科目	0	0	0科目	0	0	6	
専門科目	学域共通科目	2	2				インターンシップ	2					14	96単位以上
		2	2											
		2	2											
		2	2											
		2	2											
専門科目	学類基盤科目	2	2	地理学基礎#	2					環境社会システム学卒業研究	3	3	18	96単位以上
				公共政策学基礎	2									
				経済活動と法	2									
				環境哲学・倫理学	2									
				社会学基礎	2									
専門科目	学類専門科目	2	2	公共経済学	2	2	国際政治学	2		国際教育と開発		2		96単位以上
				国際法と共生社会		2	現代社会の倫理学	2						
				都市と経済の地理学#	2	2	共生社会とアイデンティティ	2						
				地域研究#		2	現代の社会問題と社会運動	2						
				環境社会学		2	個人創造の思想史	2						
専門科目	学類専門科目	2	2	文化と景観#		2	地域社会の言語環境	2						96単位以上
				環境哲学と現代社会		2	異文化の理解	2						
				社会文化史#	2	2	文化と共生	2						
				社会政治思想#		2	グローバル社会の文化表象	2						
				環境社会システム学演習1		2	ジェンダーと社会	2						
専門科目	学類専門科目	2	2	政治学		2	環境社会システム学演習2	2						96単位以上
				外国史	2	2	環境社会システム学演習3	2						
				比較地域論		2	自然地理学	2						
8科目		8	8	18科目	16	20	15科目	18	12	2科目	3	5	90	
単位総計		24	19	24科目	23	23	17科目	22	12	2科目	3	5	131	131単位以上

(注1)科目名欄の下線は必修科目を示す。

(注2)#は、PBLプログラム科目を示す。

環境社会システム学類履修モデル（社会環境学 No. 3）

PBLプログラム（文化表象）を履修し、公務員（行政職）、NPO法人、国際機関に就職、あるいは大学院に進学する場合

区分		1年次		2年次		3年次		4年次		単位	卒業要件 単位数			
		科 目 名	単位	科 目 名	単位	科 目 名	単位	科 目 名	単位	合計				
基幹教育科目	初年次	初年次ゼミナール	2							2	35単位			
	総合教養科目	自然環境学概論	2	ことばの歴史#	2	バリアフリー論	2							
		現代社会におけるキャリアデザイン	2	歴史のなかの大阪#	2	キャリアと実践	2							
		ジェンダー論入門	2											
		日本国憲法	2											
		国際活動とキャリア	2											
	大阪の都市づくり	2												
外国語科目	University English 1A	1	University English 3A	1						20				
	University English 1B	1	University English 3B	1										
	University English 2A	1												
	University English 2B	1												
	フランス語入門1	1								8				
その他	情報リテラシー	2												
	健康・スポーツ科学概論	2												
	健康・スポーツ科学演習	1									5			
	16科目	14	11	4科目	5	1	2科目	4	0	0科目	0	0	35	
基礎教育科目	数学リテラシー1	2		統計学基礎1	2								6	96単位以上
				統計学基礎2	2									
	1科目	2	0	2科目	2	2	0科目	0	0	0科目	0	0	6	
専門科目	学域共通科目	情報システムとサステイナビリティ	2				インターンシップ	2						14
		自然システムとサステイナビリティ	2											
		社会システムとサステイナビリティ	2											
		人間システムとサステイナビリティ	2											
		環境社会システム学概論	2											
	教育福祉学概論	2												
	学類基盤科目	経済学基礎		2	地理学基礎#	2					環境社会システム学卒業研究	3	3	
					公共政策学基礎	2								
					経済活動と法	2								
					環境哲学・倫理学	2								
				社会学基礎	2									
学類専門科目	地域実践演習		2	公共経済学		2	環境社会学		2	国際教育と開発		2		
				国際法と共生社会		2	文化と景観		2					
				グローバル社会の文化表象#	2		共生社会とアイデンティティ	2						
				地域・都市環境学#		2	現代の社会問題と社会運動		2					
				言語表現と世界認識#	2		個人創造の思想史		2					
				認識とレトリック#		2	環境哲学と現代社会		2					
				地域社会の言語環境#	2		異文化の理解		2					
				文化と共生		2	社会文化史		2					
				社会政治思想		2	都市と経済の地理学		2					
				環境社会システム学演習1		2	ジェンダーと社会		2					
政治学			政治学		2	環境社会システム学演習2	2							
外国史			外国史	2		環境社会システム学演習3		2						
			比較地域論	2		自然地理学		2						
	ラ プ P 目 ム ロ B 科 グ L					PBL演習(文化表象)#	2						56	
	8科目	8	8	18科目	18	18	15科目	14	16	2科目	3	5	90	
単位総計	26科目	24	19	24科目	25	21	17科目	18	16	2科目	3	5	131	131単位以上

(注1) 科目名欄の下線は必修科目を示す。

(注2) #は、PBLプログラム科目を示す。

環境社会システム学類履修モデル（社会環境学 No. 4）

PBLプログラム（共生の思想）を履修し、公務員（行政職）、NPO法人に就職、あるいは大学院に進学する場合

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		単位 合計	卒業要件 単位数
	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位		
基幹教育科目	初年次	初年次ゼミナール	2						2	35単位
	総合 教養 科目	自然環境学概論	2	ことばの歴史	2	バリアフリー論	2			
		現代社会におけるキャリアデザイン	2	歴史のなかの大阪	2	キャリアと実践	2			
		ジェンダー論入門	2							
		日本国憲法	2							
		国際活動とキャリア	2							
基幹教育科目	外国 語 科目	大阪の都市づくり	2							20
		University English 1A	1	University English 3A	1					
		University English 1B	1	University English 3B	1					
		University English 2A	1							
		University English 2B	1							
		フランス語入門1	1							
基幹教育科目	その 他	フランス語入門2	1							8
		情報リテラシー	2							
		健康・スポーツ科学概論	2							
		健康・スポーツ科学演習	1							
		16科目	14	4科目	5	2科目	4	0科目	0	35
基礎教育科目	基礎 教育 科目	数学リテラシー1	2	統計学基礎1	2					6
				統計学基礎2	2					
		1科目	2	2科目	2	0科目	0	0科目	0	6
専門科目	学域 共通 科目	情報システムとサステイナビリティ	2			インターンシップ	2			14
		自然システムとサステイナビリティ	2							
		社会システムとサステイナビリティ	2							
		人間システムとサステイナビリティ	2							
		環境社会システム学概論	2							
専門科目	学類 基盤 科目	教育福祉学概論	2							18
		経済学基礎	2	地理学基礎#	2			環境社会システム学卒業研究	3	
				公共政策学基礎	2					
				経済活動と法	2					
				環境哲学・倫理学	2					
				社会学基礎	2					
専門科目	学類 専門 科目	地域実践演習	2	公共経済学	2	現代社会の倫理学#	2	国際教育と開発	2	56
				国際法と共生社会	2	認識とレトリック	2			
				共生社会とアイデンティティ#	2	都市と経済の地理学	2			
				地域研究	2	現代の社会問題と社会運動	2			
				個人創造の思想史#	2	環境社会学	2			
専門科目	ラ ブ 目 ロ コ グ L	文化と共生#		文化と共生#	2	地域社会の言語環境	2			2
		環境哲学と現代社会#		環境哲学と現代社会#	2	異文化の理解	2			
		社会文化史#		社会文化史#	2	文化と景観	2			
		ジェンダーと社会#		ジェンダーと社会#	2	グローバル社会の文化表象	2			
		環境社会システム学演習1		環境社会システム学演習1	2	社会政治思想	2			
専門科目	ラ ブ 目 ロ コ グ L	政治学		政治学	2	環境社会システム学演習2	2			2
		外国史		外国史	2	環境社会システム学演習3	2			
		比較地域論		比較地域論	2	自然地理学	2			
単位総計	単位 合計	PBL演習（共生の思想）#	2							2
		8科目	8	18科目	16	15科目	16	2科目	3	90
単位総計	単位 合計	26科目	24	24科目	23	17科目	20	2科目	3	131
										131単位以上

(注1) 科目名欄の下線は必修科目を示す。

(注2) #は、PBLプログラム科目を示す。

環境社会システム学類履修モデル（社会環境学 No. 5）

他学類科目が主体となるPBLプログラム（地域および都市における排除・共生・参加）を履修し、社会調査の方法論を身につけた人材として、公務員（行政職、福祉職、教育職）、社会福祉団体、NPO法人に就職、あるいは大学院進学する場合

区分		1年次		2年次		3年次		4年次		単位	卒業要件 単位数				
		科 目 名	単位	科 目 名	単位	科 目 名	単位	科 目 名	単位	合計					
基幹教育科目	初年次	初年次ゼミナール	2							2	35単位				
	総合教養科目	自然環境学概論	2	国際社会と政治	2	バリアフリー論	2								
		現代社会におけるキャリアデザイン	2	環境・生命・倫理	2	キャリアと実践	2								
		ジェンダー論入門	2												
		日本国憲法	2												
		国際活動とキャリア	2												
	大阪の都市づくり	2													
外国語科目	University English 1A	1	University English 3A	1						20					
	University English 1B	1	University English 3B	1											
	University English 2A	1													
	University English 2B	1													
	フランス語入門1	1								8					
	フランス語入門2	1													
その他	情報リテラシー	2													
	健康・スポーツ科学概論	2													
	健康・スポーツ科学演習	1									5				
	16科目	14	11	4科目	5	1	2科目	4	0	0科目	0	0	35		
基礎教育科目	数学リテラシー1	2		統計学基礎1	2								6		
				統計学基礎2	2										
	1科目	2	0	2科目	2	2	0科目	0	0	0科目	0	0	6		
専門科目	学域共通科目	情報システムとサステイナビリティ	2				インターンシップ	2					14		
		自然システムとサステイナビリティ	2												
		社会システムとサステイナビリティ	2												
		人間システムとサステイナビリティ	2												
		環境社会システム学概論	2												
	教育福祉学概論	2													
	学類基盤科目	経済学基礎		2	公共政策学基礎	2				環境社会システム学卒業研究	3	3	18		
					経済活動と法	2									
				環境哲学・倫理学	2										
				社会学基礎	2										
			地理学基礎#	2											
学類専門科目	地域実践演習		2	公共経済学		2	国際政治学	2							
				国際法と共生社会		2	現代社会の倫理学	2							
				環境社会学		2	共生社会とアイデンティティ	2							
				都市と経済の地理学	2	2	現代の社会問題と社会運動	2	2						
				地域研究#		2	地域社会の言語環境	2							
			社会調査論		2	異文化の理解	2								
			文化と景観		2	文化と共生	2	2							
			環境哲学と現代社会#		2	ジェンダーと社会	2	2							
			社会文化史	2		環境社会システム学演習2	2	2							
			環境社会システム学演習1		2	環境社会システム学演習3	2	2							
			倫理学		2	質的調査法	2	2							
						調査設計法	2								
						資料分析法	2								
	ラ プ P 目 ム ロ B 科 グ L			地域福祉論A#	2		PBL演習(地域および都市における排除・共生・参加)※	1	1				8		
				地域福祉論B#	2										
				教育福祉の諸問題A(貧困と社会)※	2										
	8科目	8	8	19科目	18	20	15科目	19	11	1科目	3	3	90		
単位総計		26科目	24	19	25科目	25	23	17科目	23	11	1科目	3	3	131	131単位以上

(注1) 科目名欄の下線は必修科目を示す。

(注2) #は、PBLプログラム科目を示す。

環境社会システム学類履修モデル（環境共生学 No.1）

PBLプログラム（地域再生）を履修し、公務員（行政職）、地域活動NPO、都市計画系企業に就職、あるいは大学院に進学する場合

区分		1年次		2年次		3年次		4年次		単位 合計	卒業要件 単位数			
		科 目 名	単位	科 目 名	単位	科 目 名	単位	科 目 名	単位					
基幹 教育 科目	初年次	初年次ゼミナール	2							2	35単位			
	総合 教養 科目	環境・生命・倫理#	2		国際社会と政治	2		キャリアと実践	2			20		
		自然環境学概論#	2		行動と視機能	2		バリアフリー論	2					
		ジェンダー論入門	2											
		現代社会におけるキャリアデザイン	2											
		国際活動とキャリア	2											
		大阪の都市づくり#	2											
外国 語 科目	University English 1A	1		University English 3A	1							8		
	University English 1B	1		University English 3B	1									
	University English 2A	1												
	University English 2B	1												
	フランス語入門1	1												
	フランス語入門2	1												
その他	情報リテラシー	2									5			
	健康・スポーツ科学概論	2												
	健康・スポーツ科学演習	1												
		16科目	14	11	4科目	3	3	2科目	4	0	0科目	0	0	35
基礎 教育 科目	数学リテラシー1	2		統計学基礎1	2									8
	数学リテラシー2	2		統計学基礎2	2									
		2科目	2	2	2科目	2	2	0科目	0	0	0科目	0	0	
専門 科目	学域 共通 科目	情報システムとサステイナビリティ	2				インターンシップ	2						14
		自然システムとサステイナビリティ	2											
		社会システムとサステイナビリティ	2											
		人間システムとサステイナビリティ	2											
		環境社会システム学概論	2											
		教育福祉学概論	2											
	学類 基盤 科目	経済学基礎		2	環境生物学	2					環境社会システム学卒業研究	3	3	20
					公衆衛生学	2								
					公共政策学基礎#	2								
					経済活動と法	2								
学類 専門 科目	地域実践演習#		2	地域・都市環境学		2	防災・安全科学	2		ジェンダーと社会		2	52	
		環境デザイン通史			環境アセスメント学		2		2					
		公共経済学			食糧と環境		2		2					
		企業の経済学	2		景観計画学		2		2					
		環境政策学			環境経済・経営学		2		2					
		都市と経済の地理学	2		環境法1		2		2					
		環境社会学			環境法2		2		2					
		環境哲学と現代社会			国際政治学		2		2					
		国際法と共生社会			異文化の理解		2		2					
		環境社会システム学演習1			生命科学技術と社会		2		2					
		政治学			現代の社会問題と社会運動		2		2					
					環境社会システム学演習2		2		2					
			環境社会システム学演習3		2		2							
ラブP 目ムロB 科グL						PBL演習(地域再生)#	1	1						
	8科目	8	8	17科目	16	18	15科目	17	13	2科目	3	5	88	
単位総計	26科目	24	21	23科目	21	23	17科目	21	13	2科目	3	5	131単位以上	

(注1)科目名欄の下線は必修科目を示す。

(注2) #は、PBLプログラム科目を示す。

環境社会システム学類履修モデル（環境共生学 No. 2）

PBLプログラム（企業と持続可能な社会）を履修し、一般企業（CSR部門）に就職、あるいは大学院に進学する場合

区分		1年次		2年次		3年次		4年次		単位 合計	卒業要件 単位数				
		科 目 名	単位	科 目 名	単位	科 目 名	単位	科 目 名	単位						
基幹 教育 科目	初年次	初年次ゼミナール	2							2	35単位				
	総合 教養 科目	環境・生命・倫理	2	国際社会と政治 行動と視機能	2	キャリアと実践 バリアフリー論	2								
		自然環境学概論	2		2										
		ジェンダー論入門	2												
		現代社会におけるキャリアデザイン	2												
		国際活動とキャリア	2												
		大阪の都市づくり	2							20					
外国 語 科目	University English 1A	1	University English 3A University English 3B	1											
	University English 1B	1		1											
	University English 2A	1													
	University English 2B	1													
	フランス語入門1	1													
	フランス語入門2	1							8						
その他	情報リテラシー	2													
	健康・スポーツ科学概論	2													
	健康・スポーツ科学演習	1													
										5					
	16科目	14	11	4科目	3	3	2科目	4	0	0科目	0	0	35		
基礎 教育 科目	数学リテラシー1	2		統計学基礎1	2										
	数学リテラシー2	2		統計学基礎2	2								8		
													8		
	2科目	2	2	2科目	2	2	0科目	0	0	0科目	0	0	8		
専門 科目	学域 共通 科目	情報システムとサステイナビリティ	2			インターンシップ	2					14			
		自然システムとサステイナビリティ	2												
		社会システムとサステイナビリティ	2												
		人間システムとサステイナビリティ	2												
		環境社会システム学概論	2												
		教育福祉学概論	2												
	学類 基盤 科目	経済学基礎		2	環境生物学	2				環境社会システム学卒業研究	3	3			
					公衆衛生学	2									
					公共政策学基礎	2									
					経済活動と法#	2									
学類 専門 科目	地域実践演習		2	地域・都市環境学		2	防災・安全科学	2	ジェンダーと社会		2				
				環境デザイン通史		2	環境アセスメント学	2							
				公共経済学		2	食糧と環境	2							
				企業の経済学#	2	景観計画学	2								
				環境政策学	2	環境経済・経営学#	2								
				都市と経済の地理学	2	環境法1#	2								
環境社会学		2	環境法2	2											
環境哲学と現代社会		2	国際政治学	2											
国際法と共生社会		2	異文化の理解	2											
環境社会システム学演習1		2	生命科学技術と社会	2											
政治学		2	現代の社会問題と社会運動	2											
			環境社会システム学演習2	2											
			環境社会システム学演習3	2											
											52				
	ラブP 目ムロB 科グL					PBL演習(企業と持続可能な社会)E	1	1							
	8科目	8	8	17科目	16	18	15科目	17	13	2科目	3	5	88		
単位総計		26科目	24	21	23科目	21	23	17科目	21	13	2科目	3	5	131	131単位以上

(注1) 科目名欄の下線は必修科目を示す。

(注2) #は、PBLプログラム科目を示す。

環境社会システム学類履修モデル（資格取得 No. 1）

PBLプログラム（ESD-A）を履修し、中学校社会科教員免許状・高等学校公民科教員免許状を取得して、中学・高等学校教員 国際関係機関に就職する場合

区分		1年次		2年次		3年次		4年次		単位 合計	卒業要件 単位数															
		科 目 名	単位	科 目 名	単位	科 目 名	単位	科 目 名	単位																	
基幹 教育科目	初年次	初年次ゼミナール	2							2	35単位															
	総合 教養 科目	自然環境学概論	2	国際社会と政治	2	バリアフリー論	2					20														
		現代社会におけるキャリアデザイン	2	環境・生命・倫理	2	キャリアと実践	2						8													
		ジェンダー論入門	2							5																
		日本国憲法	2						35																	
		国際活動とキャリア	2											5												
大阪の都市づくり#	2																									
外国 語科 目	University English 1A	1	University English 3A	1								8														
	University English 1B	1	University English 3B	1									5													
	University English 2A	1								35																
	University English 2B	1									5															
	フランス語入門1	1																								
フランス語入門2	1																									
その他	情報リテラシー	2									5															
	健康・スポーツ科学概論	2										35														
健康・スポーツ科学演習	1																									
		16科目	14	11	4科目	5	1	2科目	4	0	0科目	0	0	35												
基礎 教育科目		数学リテラシー1	2		統計学基礎1	2									6											
					統計学基礎2	2										6										
		1科目	2	0	2科目	2	2	0科目	0	0	0科目	0	0													
学域 共通 科目	情報システムとサステイナビリティ 自然システムとサステイナビリティ 社会システムとサステイナビリティ 人間システムとサステイナビリティ 環境社会システム学概論 心理学概論	2					インターンシップ	2							14											
		2												16												
		2														96単位 以上										
		2															16									
		2																58								
		2																	2							
	経済学基礎◇	2	地理学基礎◇	2				環境社会システム学卒業研究	3	3																
			公衆衛生学	2																						
			経済活動と法◇	2																						
			社会学基礎#◇	2																						
学類 専門 科目	環境政策学◇ 環境社会学◇ 異文化の理解◇ 現代社会の倫理学◇ 環境哲学と現代社会◇ 現代の社会問題と社会運動◇ 地域研究#◇ 環境社会システム学演習1 倫理学#◇ 政治学#◇ 国際教育と開発#◇ 社会科教育法(地歴分野)1A◇ 社会科教育法(地歴分野)2A◇ 社会科教育法(公民分野)1A#◇ 社会科教育法(公民分野)2A#◇				2	国際政治学◇	2	環境法1	2					58												
					2	国際法と共生社会◇	2	環境法2	2						90											
					2	社会文化史◇	2									131										
					2	共生社会とアイデンティティ◇	2										131単位以上									
					2	ジェンダーと社会◇	2											131単位以上								
					2	資源循環論	2												131単位以上							
					2	食料と環境	2													131単位以上						
					2	個人創造の思想史◇	2														131単位以上					
					2	環境社会システム学演習2	2															131単位以上				
					2	環境社会システム学演習3	2																131単位以上			
					2	日本史概説◇	2																	131単位以上		
					2	外国史◇	2																		131単位以上	
					2																					131単位以上
					2																					
PBL演習(ESD-A)#◇							2							2												
7科目		8	6	19科目	18	20	14科目	18	10	3科目	5	5	90													
要卒単位小計		24科目	24	17	25科目	25	23	16科目	22	10	3科目	5	5	131	131単位以上											
自由科目	教職概論□ 教育基礎論□ 教育制度論□ 発達・学習論□	2		教育課程論□	2		特別活動論□	2		教育実習事前指導(中・高)□	2															
		2		特別支援教育論□	2		道徳指導論□	2		教育実習(4単位)□	4			2												
		2		教育方法論□	2		総合的な探究の指導論□	2		教職実践演習(中・高)□						2										
		2		教育相談論□	2		生徒・進路指導論□	2									2									
単位合計		28科目	26	23	29科目	29	27	20科目	26	14	4科目	11	7	163	131単位以上											

(注1) 科目名欄の下線は必修科目を示す。

(注2) #は、PBLプログラム科目を示す。

(注3) ◇は、教科および教科の指導法に関する科目を示す。

(注4) □は、教職に関する科目を示す。

環境社会システム学類履修モデル（資格取得 No. 2）

履修モデル（環境社会システム学類）：PBLプログラム（ESD-B）を履修し、中学校社会科教員免許状を取得して、中学校教員 国際関係機関に就職する場合

区分		1年次			2年次			3年次			4年次			単位 合計	卒業要件 単位数	
		科 目 名	単 位		科 目 名	単 位		科 目 名	単 位		科 目 名	単 位				
基幹 教育 科目	初年次	初年次ゼミナール	2											2	35単位	
	総合 教養 科目	自然環境学概論	2		国際社会と政治	2		バリアフリー論	2							20
		現代社会におけるキャリアデザイン	2		環境・生命・倫理	2		キャリアと実践	2							
		ジェンダー論入門	2													
		日本国憲法	2													
		国際活動とキャリア	2													
	大阪の都市づくり#	2														
外国 語 科 目	Unisversity English 1A	1		University English 3A	1										8	
	Unisversity English 1B	1		University English 3B	1											
	Unisversity English 2A	1														
	Unisversity English 2B	1														
	フランス語入門1	1														
フランス語入門2	1															
そ の 他	情報リテラシー	2													5	
	健康・スポーツ科学概論	2														
	健康・スポーツ科学演習	1														
		16科目	14	11	4科目	5	1	2科目	4	0	0科目	0	0	35		
基 礎 教 育 科 目		数学リテラシー1	2		統計学基礎1	2									6	
					統計学基礎2	2										
		1科目	2	0	2科目	2	2	0科目	0	0	0科目	0	0	6		
専 門 科 目	学 域 共 通 科 目	情報システムとサステイナビリティ	2												12	
		自然システムとサステイナビリティ	2													
		社会システムとサステイナビリティ	2													
		人間システムとサステイナビリティ	2													
		環境社会システム学概論	2													
	教育福祉学概論	2														
	学 類 基 盤 科 目	経済学基礎◇		2	地理学基礎◇	2					環境社会システム学卒業研究	3	3		16	
					公共政策学基礎◇	2										
					環境哲学・倫理学◇	2										
					社会学基礎◇	2										
学 類 専 門 科 目	地域実践演習		2	地域研究#◇		2	都市と経済の地理学#◇	2		防災安全科学	2			60		
				文化と景観#◇		2	日本の歴史環境◇	2								
				個人創造の思想史◇		2	学校教育史◇	2								
				公共経済学◇		2	地域・都市環境学◇	2	2							
				現代の社会問題と社会運動◇		2	社会文化史◇	2	2							
				環境社会システム学演習1		2	ジェンダーと社会◇	2	2							
				日本史概説#◇		2	環境社会システム学演習2	2	2							
				外国史#◇		2	環境社会システム学演習3	2	2							
				比較地域論◇		2	自然地理学#◇	2	2							
				国際教育と開発#◇		2	日本近代の社会の歴史◇	2	2							
				社会科教育法(地歴分野)1A#◇		2	東洋の歴史環境◇	2	2							
				社会科教育法(地歴分野)2A#◇		2	西洋の歴史と文化◇	2	2							
				社会科教育法(公民分野)1A◇		2	倫理学◇	2	2							
				社会科教育法(公民分野)2A◇		2	政治学◇	2	2							
ラ ブ P 目 ム ロ B 科 グ ル						PBL演習(ESD-B)#◇	2									
8科目		8	8	18科目	16	20	15科目	16	14	2科目	5	3	90			
要卒単位小計		25科目	24	19	24科目	23	23	17科目	20	14	2科目	5	3	131	131単位以上	
自 由 科 目	教職概論□	2		教育課程論□	2		特別活動論□	2		教育実習事前指導(中・高)□	2			2		
	教育基礎論□	2		特別支援教育論□	2		道徳指導論□	2		教育実習(4単位)□	4					
	教育制度論□	2		教育方法論□	2		総合的な探究の指導論□	2	2	教職実践演習(中・高)□						
	発達・学習論□	2		教育相談論□	2		生徒・進路指導論□	2	2							
単位合計		29科目	26	25	28科目	27	27	21科目	24	18	3科目	11	5	163	131単位以上	

(注1) 科目名欄の下線は必修科目を示す。

(注2) #は、PBLプログラム科目を示す。

(注3) ◇は、教科および教科の指導法に関する科目を示す。

(注4) □は、教職に関する科目を示す。

環境社会システム学類履修モデル（未来デザインコース No. 1）

PBLプログラム（社会調査）を履修し、未来デザインプログラムで情報学系の科目を学ぶことにより、フィールドの経験を踏まえた社会調査の専門家として、コンサルタント系企業に就職する場合

区分		1年次		2年次		3年次		4年次		単位		卒業要件 単位数			
		科 目 名	単 位	科 目 名	単 位	科 目 名	単 位	科 目 名	単 位	単位 合計					
基幹教育科目	初年次	初年次ゼミナール	2									2	35単位		
	総合教養科目	自然環境学概論	2	国際社会と政治	2	バリアフリー論	2					20			
		現代社会におけるキャリアデザイン	2	環境・生命・倫理	2	大阪の都市づくり	2								
		日本国憲法	2	国際活動とキャリア	2	ジェンダー論入門	2								
				キャリアと実践	2										
	外国語科目	University English 1A	1	University English 3A	1							8			
		University English 1B	1	University English 3B	1										
University English 2A		1													
University English 2B		1													
フランス語入門1		1													
フランス語入門2	1														
その他	情報リテラシー	2										5			
	健康・スポーツ科学概論	2													
	健康・スポーツ科学演習	1													
		13科目	12	7	6科目	7	3	3科目	4	2	0科目	0	0	35	
基礎教育科目		線形代数1	2	統計学基礎1	2								12		
		線形代数2A	2	統計学基礎2	2										
		プログラミング入門A	2												
		プログラミング入門B	2												
		4科目	4	4	2科目	2	2	0科目	0	0	0科目	0	0	12	
専門科目	学域共通科目	情報システムとサステイナビリティ	2										16		
		自然システムとサステイナビリティ	2												
		社会システムとサステイナビリティ	2												
		人間システムとサステイナビリティ	2												
		知識情報システム学概論	2												
		環境社会システム学概論	2												
		教育福祉学概論	2												
		心理学概論	2												
	学類基盤科目	経済学基礎		2	公共政策学基礎	2	公衆衛生学	2					16		
				経済活動と法	2	環境生物学	2								
				環境哲学・倫理学	2										
	学類専門科目				社会学基礎#	2							34		
				地理学基礎#	2										
				公共経済学	2	国際政治学	2	現代社会の倫理学	2						
				国際法と共生社会	2	異文化の理解	2								
				環境社会学#	2	環境社会システム学演習2	2								
				都市と経済の地理学	2	環境社会システム学演習3	2								
			現代の社会問題と社会運動#	2	質的調査法#	2									
		社会調査論#	2	調査設計法#	2										
ラボP 目ムロB 科グ L			地域研究	2	資料分析法#	2						22			
			環境社会システム学演習1	2											
			倫理学	2											
F D C	未来デザインインターンシップ	2	未来デザイン計画演習	2	未来デザインPBL演習	1	未来デザイン卒業研究	3	3			90			
			データベース基礎	2	データマイニング	2	文化心理学	2							
					情報セキュリティ	2	マルチメディア情報処理	2							
		10科目	8	12	17科目	16	18	13科目	18	8	3科目	7	3	22	
単位総計		28科目	24	23	25科目	25	23	17科目	22	10	3科目	7	3	137	137単位以上

(注1) 科目名欄の下線は必修科目を示す。

(注2) #は、PBLプログラム科目を示す。

環境社会システム学類履修モデル（未来デザインコース No. 2）

PBLプログラム（地域再生）を履修し、未来デザインプログラムで多職種連携に関する科目を学ぶことにより、地域の課題に取り組んだ経験を踏まえて地域再生を牽引する人材として、地方自治体に就職する場合

履修モデル (環境社会)		1年次		2年次		3年次		4年次		単位 合計	卒業要件 単位数				
		科 目 名	単位	科 目 名	単位	科 目 名	単位	科 目 名	単位						
基幹 教育科目	初年次	初年次ゼミナール	2								2	35単位			
	総合 教養 科目	環境・生命・倫理#	2	国際社会と政治	2	キャリアと実践	2								
		自然環境学概論#	2	行動と視機能	2	バリアフリー論	2								
		ジェンダー論入門	2	大阪の都市づくり#	2										
				現代社会におけるキャリアデザイン	2										
	外国 語 科目	University English 1A	1	University English 3A	1										
	University English 1B	1	University English 3B	1											
	University English 2A	1													
	University English 2B	1													
	フランス語入門1	1													
	フランス語入門2	1													
その他	情報リテラシー	2													
	健康・スポーツ科学概論	2													
	健康・スポーツ科学演習	1													
		13科目	12	7	7科目	5	7	2科目	4	0	0科目	0	0	35	
基礎 教育科目		線形代数1	2		統計学基礎1	2									
		線形代数2A	2		統計学基礎2	2									
		プログラミング入門A	2												
		プログラミング入門B	2												
		4科目	4	4	2科目	2	2	0科目	0	0	0科目	0	0	12	
														12	
専門 科目	学域 共通 科目	情報システムとサステナビリティ	2												
		自然システムとサステナビリティ	2												
		社会システムとサステナビリティ	2												
		人間システムとサステナビリティ	2												
		知識情報システム学概論	2												
		環境社会システム学概論	2												
		教育福祉学概論	2												
		心理学概論	2												
	学類 基盤 科目	経済学基礎	2	環境生物学	2										
				公衆衛生学	2										
				公共政策学基礎#	2										
				経済活動と法	2										
				環境哲学・倫理学	2										
学類 専門 科目	地域実践演習#	2	地域・都市環境学	2	防災・安全科学	2									
			環境デザイン通史	2	環境アセスメント学	2	2								
			公共経済学	2	食糧と環境	2	2								
			環境政策学	2	景観計画学	2	2								
			都市と経済の地理学	2	環境経済・経営学	2	2								
			環境社会学	2	国際政治学	2	2								
			国際法と共生社会	2	異文化の理解	2	2								
			環境社会システム学演習1	2	ジェンダーと社会	2	2								
ラプ P 目ムロ B 科グ L					PBL演習(地域再生)#	1	1								
F D C	未来デザインインターンシップ	2	未来デザイン計画演習	2	未来デザインPBL演習	1	1	未来デザイン卒業研究	3	3					
			ソーシャルワーク概論	2	コラボレーション論	2									
			教育福祉の諸問題C(多文化共生)	2	社会・集団・家族心理学	2									
					産業・組織心理学	2	2								
単位総計		11科目	8	14	16科目	16	16	15科目	18	12	1科目	3	3	90	
		29科目	24	25	25科目	23	25	18科目	22	12	1科目	3	3	137	
											137単位以上				

(注1) 科目名欄の下線は必修科目を示す。

(注2) #は、PBLプログラム科目を示す。